



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年5月期3Q	12,519,064株	27年5月期	12,519,064株
② 期末自己株式数	28年5月期3Q	4,564株	27年5月期	3,834株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年5月期3Q	12,514,742株	27年5月期3Q	12,146,429株

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき、1.1株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前半は賃金上昇やインバウンド消費の拡大等に加え設備投資も堅調に推移した結果、全体としては緩やかな回復傾向となりました。一方で、後半は新興国の経済不安等に加え国内生産活動が停滞してきており、景気は悪化傾向にあります。

医薬品業界におきましては、平成25年4月に厚生労働省より「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」が公表されました。また、平成27年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」（いわゆる骨太方針2015）にて、「後発医薬品に係る数量シェアの目標値については、2017年（平成29年）末に70%以上とするとともに、2018年度（平成30年度）から2020年度（平成32年度）末までの間のなるべく早い時期に80%以上とする。」と明記され、ジェネリック医薬品の新たな使用促進策導入により今後一層数量シェアの拡大が見込まれます。一方で同基本方針には「国民負担を軽減する観点から、後発医薬品の価格算定ルールの見直しを検討するとともに、後発医薬品の価格等を踏まえた特許の切れた先発医薬品の保険制度による評価の仕組みや在り方等について検討する。」とも記載されており、一層の経営効率化への努力が求められています。

このような状況のもと、当社グループは引き続き生産基盤の充実を図りながら積極的な営業活動を展開いたしました。

売上高の販売品目ごとの業績は次のとおりであります。

原薬では、消化性潰瘍剤原薬及び解熱鎮痛消炎剤原薬などのジェネリック医薬品向け原薬の販売が堅調に推移し、売上高は16,447百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

製剤では、医療用医薬品において自社開発ジェネリック医薬品の販売増加に加え、新薬や長期収載品の製造受託の増加があり、順調に推移し、売上高は10,307百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

健康食品他につきましては、市場環境の悪化等により、厳しい状況で推移し、売上高は251百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高27,006百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益2,748百万円（前年同期比14.8%増）、経常利益2,859百万円（前年同期比21.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,911百万円（前年同期比25.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より2,279百万円増加し、44,584百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少1,198百万円並びに投資有価証券の減少239百万円などがあった一方で、電子記録債権の増加685百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,428百万円並びに有形固定資産の増加1,391百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末より942百万円増加し、21,392百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少434百万円並びに流動負債その他の減少616百万円などがあった一方で、電子記録債務の増加257百万円、短期借入金の増加920百万円並びに長期借入金の増加727百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より1,337百万円増加し、23,192百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少165百万円などがあった一方で、利益剰余金の増加1,536百万円などがあったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度より0.4ポイント増加し、51.1%となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月期（平成27年6月1日～平成28年5月31日）の通期の連結業績予想につきましては、平成27年7月10日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,918,749	1,890,538
受取手形及び売掛金	9,864,970	8,666,582
電子記録債権	3,254,881	3,940,172
商品及び製品	835,982	1,169,054
仕掛品	2,250,379	2,498,088
原材料及び貯蔵品	2,265,943	3,694,323
その他	1,373,510	1,057,456
貸倒引当金	△47,664	△52,169
流動資産合計	21,716,752	22,864,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,335,340	9,103,534
機械装置及び運搬具(純額)	4,353,668	5,751,299
その他(純額)	4,751,588	2,977,144
有形固定資産合計	16,440,597	17,831,978
無形固定資産	521,893	426,199
投資その他の資産		
投資有価証券	3,358,453	3,118,668
その他	291,610	403,860
貸倒引当金	△24,153	△60,117
投資その他の資産合計	3,625,911	3,462,411
固定資産合計	20,588,402	21,720,589
資産合計	42,305,155	44,584,636
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,176,774	4,382,804
電子記録債務	464,734	721,959
短期借入金	3,050,000	3,970,000
1年内返済予定の長期借入金	2,472,456	2,286,090
未払法人税等	821,779	387,143
引当金	85,604	235,421
その他	4,914,538	4,297,921
流動負債合計	15,985,887	16,281,340
固定負債		
長期借入金	3,434,698	4,162,573
退職給付に係る負債	195,950	199,326
その他	833,998	749,304
固定負債合計	4,464,647	5,111,204
負債合計	20,450,535	21,392,544

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,367,774	4,367,774
資本剰余金	4,253,965	4,253,965
利益剰余金	11,138,297	12,674,405
自己株式	△8,775	△10,886
株主資本合計	19,751,262	21,285,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,339,798	1,174,597
為替換算調整勘定	356,091	299,083
退職給付に係る調整累計額	13,364	3,341
その他の包括利益累計額合計	1,709,254	1,477,022
非支配株主持分	394,103	429,811
純資産合計	21,854,620	23,192,092
負債純資産合計	42,305,155	44,584,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	24,648,461	27,006,892
売上原価	19,462,049	21,603,075
売上総利益	5,186,411	5,403,816
返品調整引当金戻入額	369	688
差引売上総利益	5,186,781	5,404,505
販売費及び一般管理費	2,792,973	2,656,004
営業利益	2,393,807	2,748,500
営業外収益		
受取利息	12,342	483
受取配当金	54,508	58,449
受取保証料	7,215	7,437
為替差益	—	56,262
その他	46,465	33,448
営業外収益合計	120,532	156,080
営業外費用		
支払利息	46,361	30,751
株式交付費	19,499	—
為替差損	74,568	—
その他	10,808	14,337
営業外費用合計	151,238	45,088
経常利益	2,363,102	2,859,493
特別利益		
固定資産売却益	13,225	—
投資有価証券売却益	75,488	—
特別利益合計	88,713	—
特別損失		
固定資産除却損	98,889	6,171
その他	1,565	450
特別損失合計	100,454	6,621
税金等調整前四半期純利益	2,351,361	2,852,872
法人税等	840,808	954,935
四半期純利益	1,510,553	1,897,937
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,002	△13,618
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,518,555	1,911,555

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)
四半期純利益	1,510,553	1,897,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	491,942	△165,200
退職給付に係る調整額	25,735	△10,023
為替換算調整勘定	190,968	△80,534
その他の包括利益合計	708,647	△255,758
四半期包括利益	2,219,200	1,642,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,170,424	1,679,323
非支配株主に係る四半期包括利益	48,775	△37,144

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。